

# 事業評価シート（平成23年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	サポートファーマー育成事業		
事業担当	経済部 農水産課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'03	③〈新しい芽〉リーダー、後継者が育ち活躍できる環境をつくる	
	'02	2 新しい価値観や豊富な行動力をもった担い手が、継続的に育成されるしくみをつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	平塚市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他 】 【協働： JA湘南 】		
目的・目標		事業の概要	
農業者以外の市民が農業に従事できるよう、農業技術研修などを実施することにより、援農組織へ登録する援農者や新規就農者などの担い手が育成されています。		農業の担い手の育成のため、研修農場で作付け、肥培管理、収穫などの農業技術研修を開催します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	サポートファーマー研修会開催回数			単位	回
	説明・算定式	農場での実技研修および講義研修の回数				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	47	47	47	47	
	実績	46	47	52		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	援農者数			単位	人
	説明・算定式	研修会修了後、援農組織などへの登録者数				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	18	21	24	35	
	実績	19	20	30		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成23年度の主な取組と成果						
市民13名を対象に農業実習48回、農業講座を12回実施しました。また、JA湘南主催の菜園講座、サポートバンクと合同で草払機や農業の講習等を実施しました。サポートファーマー卒業生で構成するSFCは、金田市民農園マイ菜ファームの運営の一部を担うとともに、収穫祭等のイベントも実施しました。 JA湘南サポートバンクへの新規登録者数は10人で、計30人になりました。						
平成23年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	定年退職者や農業に興味のある市民にとって、専門的な指導のもと一年間をとおり、指導が受けられることは、食の安全性も含め、研修の参加者数から判断すると市民ニーズが高いです。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	研修会の受講により専門的な知識、農家としてのノウハウを習得できることから、有効性が高いです。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	参加者より年間、8000円の負担金を徴収し、市で借用している土地の使用料に充当しています。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	収穫した種や苗等を翌年度用に保存し、経費の削減を図ります。	● 高 ○ 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 研修内容の充実と、卒業生のフォローアップが今後の課題です。また、研修修了者で組織した「サポートファーマークラブ」への誘導が課題となります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		研修会の開催、援農ボランティア制度を周知	研修会の開催、援農ボランティア制度の周知	研修会の開催、援農ボランティア制度の周知	研修会の開催、JAサポートバンクへの登録促進
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	169	166	165	221
	一般財源	580	651	602	601
事業費 (A)		749	817	767	822
執行率 (%)		82.22	93.59	91.31	
内訳	職員 (人)	1.15	0.89	0.81	0.71
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		9,610	7,351	6,565	5,691
フルコスト (A+B)		10,359	8,168	7,332	6,513

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成25年度の取組方針</b> 研修内容の充実を図り、援農ボランティア制度の周知を行います。
<b>課長コメント</b> 計画通り事業が進捗し成果が上がっており、今年度はJAの菜園講座と連携して事業を進めます。さらに、農業者からの信頼を高め、サポートファーマーによる主体的な援農活動が展開できるよう、活動の場の確保とともにNPO法人化への誘導を図る必要があります。